



ともに育ち 学びあう活動—実践編

委員会をはじめ、年間を通して活動する組合員を“むすび”ます。活動の紹介、情報発信の場をめざします！

50周年記念地域イベント 渋・目・世エリアから

昨年、コロナ禍のため開催できなかった50周年記念地域イベント。今年度開催が可能になりました、その第一弾として、渋・目・世エリアの『ペシャワール会 中村哲医師から渡されたもの～未来へつなぐ希望の道～』を紹介します。当日の9月25日はまだ緊急事態宣言下のためオンラインのみで開催、187名が参加しました。各エリアの様子は順次お伝えします。

■実行委員会の長い道のり

昨年、50周年記念地域イベント開催にあたり「これからを考えるきっかけになるような企画を」と、平和カンパ活動などを通じて交流してきたペシャワール会の中村哲医師を迎えての講演会に向け2年前から準備を進めました。ところが「2019年12月、突然中村医師の悲報を受けました。コロナ禍も重なり、挫けそうになりながらも話し合いを重ね、今回の“記録上映と対談”が実現しました」と語る実行委員会の皆さん。

50年の歴史の中で、渋・目・世エリアでは平和活動にも力を注ぎ、2002年に『平和カンパ』を届ける団体にペシャワール会が加えられた時も、エリアからの多くの声の後押しがあったから。ペシャワール会等による平和学習会を開催し、交流を重ねてきたことがエリアの力となり、今回の開催につながったようです。

■藤田さんが語る中村医師

ペシャワール会は中村医師が始めたアフガニスタンでの医療や灌漑事業を支援する団体で、当日は福岡にあるペシャワール会本部とオンラインで結び、現地報告のDVD上映後、看護師として中村医師と現地で労苦を共にされた藤田千代子さん(現、PMS支援室室長)



福岡県内の病院勤務後、1990年から中村医師の活動地、パキスタン・ペシャワールの病院で医療活動を支え続けた藤田さん。今は、福岡で活動を支える。「現地に行けないことが、先生の遺志を継いで活動するスタッフに申し訳なくて」とも話しました



100名近くの組合員が会場参加を希望していたが（オンライン参加は200名近く）、緊急事態宣言の延長により組合員も藤田さんも会場に来ることができず、広い会場には数名のスタッフのみ。オンラインで福岡と東京をつなぎ、多くの組合員が藤田さんの貴重なお話をライブで聞くことができました（FORUM8 ジェミニホールにて）



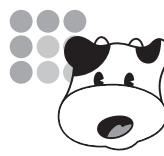
藤田さんのお話の前にはDVD『アフガニスタン用水路が運ぶ恵みと平和』を上映。作品の後半には、日本国憲法の大切さを訴える中村医師の姿も

に、お話を聞きました。

写真を交えながら、ハンセン病患者の治療や井戸掘削、用水路建設など、中村医師と共にやってきた活動について淡々と語った藤田さん。「中村哲医師は“行動の人”そのもの。信念に基づいた行動力がすべてを作っていました」とも語りました。

■地道に活動の歩みを続けること

アフガニスタンはいま、2002年の大干ばつ以上の深刻な干ばつで危機的状況。政情がやや落ち着いた上で現地の活動が再開されたとも聞きました。渋・目・世エリアでも、あらためて生活協同組合の原点に立ち返り、中村医師に倣い、理念の実現に向けてあらたな一步を進めようということを確認した会でした。



オンラインで開催された委員会活動

コロナ禍であっても委員会活動を継続していきたいと、各委員会とも工夫を重ねてきました。今回は、9月に開催されたオンラインでの企画を紹介します。10月からは緊急事態宣言も解除となりました。引き続き感染症対策を遵守しながらの委員会活動の様子を取材し、お知らせしていきます。

オンライン工場見学 (株)パル・ミート

9月9日

八王子さくら食育委員会

コロナ禍でも組合員同士や生産者とのつながりをと、委員会初となるオンラインでの(株)パル・ミート見学を企画しました。八王子センターと山形事業所を結び、開催されました。

山形事業所で生産する『私が選ぶ』シリーズの商品紹介や、衛生管理対策について学習。ハム、ソーセージの製造工程を動画で見学し、一連の作業の流れがよくわかると好評でした。添加物や原材料などの質問も多く、生産者との質疑応答を通じて商品の安全・安心を実感しました。委員長は「今後も食を通じて、人と人との関係を大切にしたい」と振り返りました。



「機械の洗浄の頻度はどれくらい?」「添加物は使っていない?」など、参加者から多くの質問が寄せられ、商品への関心の高さがうかがわれました

バナナ・エコシュリンプ学習会

9月13日

平井委員会

パルシステムの『エコ・バナナ(バランゴン)』と『エコシュリンプ』は市販品とどう違うのか、おいしさの秘密も知りたいと(株)オルター・トレード・ジャパンの小林さんを講師に学習会を開催しました。

まずは動画で、市販のバナナの栽培方法の実態と、エコ・バナナの栽培方法の違いを鑑賞。化学合成農薬不使用、生産者にも消費者にも安全・安心で、持続可能な取り組みだと確認。また、エコシュリンプも、水生生物が豊富な池でのびのびと育ち、エビ本来の味わいが楽しめることが、頭の部分を有効利用していることも知りました。安全・安心な農業や環境について、考えることの多い学習会になりました。



「開始前の打ち合わせもしっかりとできました、皆さんの協力で無事開催できてホッとしています」と委員長

子どもの食の お悩み・疑問を解決

9月9日

等々力委員会

近年増加している子どものアレルギーなど、食の関連について、管理栄養士の小川さんから聞きました。自身のアレルギーや花粉症など、薬が手放せなかった生活から、食を見直して体质改善を図った経験を基に、何をどう食べたらいいか話してくれました。

はじめに参加者から、わが子の偏食や好き嫌い、アレルギーなどのお悩みを聞き、解決策を伝えていきます。手づくりの家庭料理が健康管理に一番よいこと。そして子どもに食べてほしいものと避けてほしいもの、食べ方や食べ時なども伝えます。参加者からは「具体的でわかりやすくとても参考になった」と一方的になりがちなオンラインを、自己紹介や質疑を通して双方向の交流の場にできたことがとてもよかったです」と委員長

食べて欲しいもの

- ①果物
- ②豆類(豆腐なども含む)
- ③海藻、きのこ

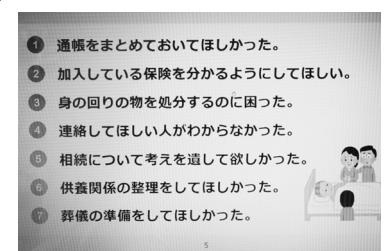
一級葬祭ディレクターに聞く 葬儀のいろは

9月16日

西国分寺委員会

突然の葬儀にも慌てずにすむよう、葬儀について知っておこうと、企画開催しました。講師は、パルシステム東京と提携する葬儀社(株)セレモニーです。

葬儀で後悔しないための基礎知識、葬儀の種類と流れ、費用のこと、最近注目されている家族葬についてなど、詳しくていねいに説明してくれました。「疑問点やわからないことは、納得できるまで説明してもらうことが大切」の話に、「聞いても大丈夫とわかり安心した」の声が。「残された者が困らないよう、準備しておくことがわかつてよかったです」の感想も聞かれ、知っておくことの大ささを実感した有意義な時間になりました。



講師のお話に「エンディングノートなどを活用し、どんな葬儀にしたいか伝えることが必要とわかった」と委員の皆さん